

グリーンレター Green Letter

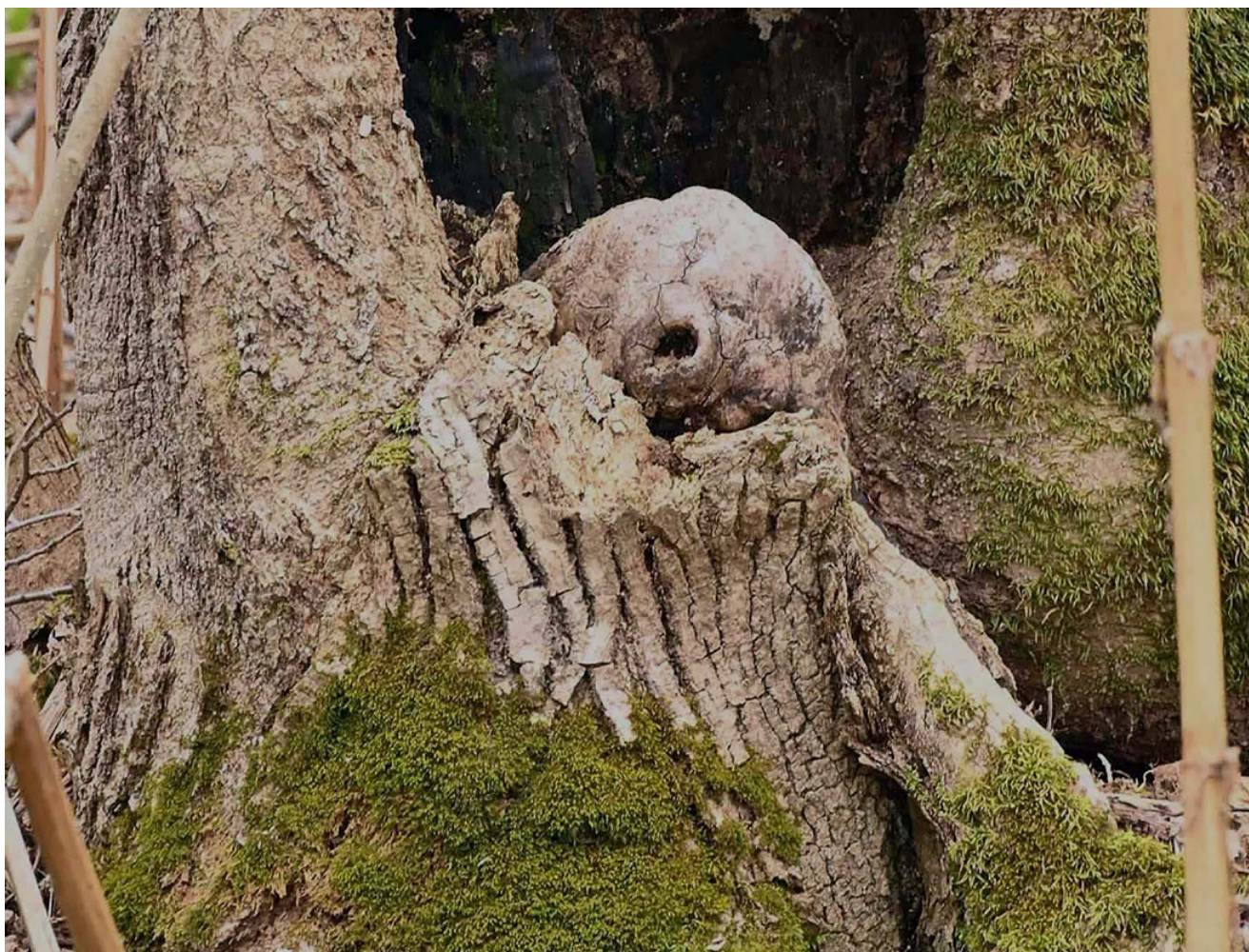
Green Column グリーンコラム

01 ホタルが描かれたブロマイド

02 美教寺の梵鐘供出記念碑

Vol.335

2025/06/01



鬼丸和幸 《湿原に隠れていたエイリアン (?)》

Photo 今月の1枚

晩春を迎える6月、近郊の湿原を歩いてみました。5月はミズバショウの花が見事だった湿原は、大きくなった濃い緑色のミズバショウの葉で埋め尽くされていました。辺りを見回していると、薄暗い湿原の中、木道脇に生えていた大木の根本に、何とタコのような足がついて、右目が開いたエイリアン(?)の姿が…それなりに不気味でした。(鬼丸和幸)



01 Green Column グリーンコラム

ホタルが描かれた ブロマイド

写真・文／鬼丸和幸

最近は、子供を公園へ連れ出そうとしても、「虫がいるから行かない！」と、断られたりするという話を聞いて、複雑な気持ちになります。

江戸時代後期にもなると、江戸の庶民たちは野外へ出かけ、「ホタル狩り」や「虫聞き」と称して、ホタルが光る姿を見たり、コオロギやキリギリスの鳴き声を聞いたりして愛でる事が、日常生活の中で、ごく普通のなりわいとしてされており、昆虫は身近な存在として認知されていたようです。そのためか、当時出版された浮世絵の中にも、ホタル狩りを楽しむ人々や、ホタルが舞う情景を背景にした歌舞伎役者が描かれた作品等が、多数出回っていました。

現在開催中の特別展「螢が舞う風景」の展示作品の中に「ほたるがりとうふうぞく 螢狩當風俗（歌川豊国；1860年作）」があります。当時人気があった女形歌舞伎役者が描かれた作品ですが、人物の背後にホタル

が美しく光りながら飛び交っている情景が描かれています。当時の人々が、歌舞伎役者にあこがれて、現代のブロマイドと同じように、悲鳴を上げながらこの作品を買い求めた…なんていう光景が想像できるのですが、そんな人気商品にホタルが描かれているのですから、ホタルの存在は当時の人々に、魅力的に受け入れられていたのでしょう。

展示会では、写真だけではなく、ホタルをモチーフにした様々な美術作品も展示していますので、ぜひご覧いただければと思います。

美教寺の 梵鐘供出記念碑

写真・文／八重柏誠



3年ぶりに町の歴史を徒歩で探索する「歩いて発見！ぶら博物館」を開催しました。今回は古梅地区での開催でしたので、市街地開催は7年ぶりとなります。5月としては暑い1日となりましたが、市街地に残された隠れた歴史に触れることができました。

今回の探索の途中、美教寺に立ち寄りました。目的は小さな石碑です。それは鐘楼しょうろうの隣にひっそりとありました。石碑には「梵鐘供出記念」と刻まれており、裏には「昭和十七年十月十六日供出」と刻まれていました。戦時中、金属資源の不足を補うために金属製品の供出を求められるようになり、美幌町でも多くの鉄や銅製品を供出するようになりました。町史には、昭和17年の出来事として美教寺と観照寺の梵鐘を供出したと記述されています。昨年開催した特別展「フィルム

で振り返る美幌の歴史」では、その時に撮影された梵鐘供出の様子を公開しました。フィルムには、とても長い縄を使い、多くの人々の手によって梵鐘を引く様子、梵鐘の周りに僧侶が取り囲み、祈りをあげる様子が撮影されていました。この時のことについて撮影者は、美幌町民にとって町の象徴が失われる悲しい出来事だったと語っています。

この映像も含め、昨年開催した特別展「フィルムで振り返る美幌の歴史」を見逃した皆様のために、復刻上映と題してロビー展を開催します。内容は、特別展で使用した映像資料を再編集したものとなっています。7月19日より博物館2階ロビーが始まりますので、興味のある方はぜひ博物館にご来館ください。

Exhibition 展示

特別展「蛍が舞う風景」

～10月26日(日)

Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

プチ工房「風鈴」

6/20(金)、21(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品ができ次第終了

美幌博物館1階 講座室・300円

講師／町田善康(美幌博物館)

対象／どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。

美幌博物館講座(自然編)「ホタルかごを作ろう」

6/28(土) 10:00～11:30

美幌博物館1階 講座室・無料

講師／鬼丸和幸(美幌博物館)

対象／中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み／美幌博物館に電話で申込み。24名で締切。

美幌博物館講座(自然編)「野外でヘイケボタルを見てみよう」

7/12(土) 18:30～21:15

美幌博物館1階 講座室、美幌町内・100円

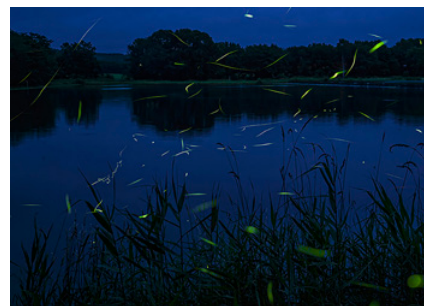
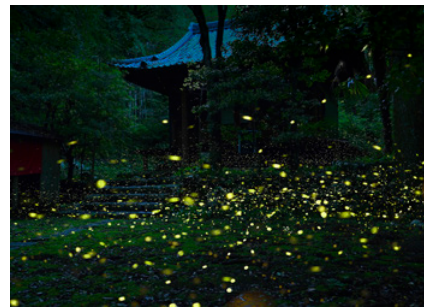
講師／鬼丸和幸(美幌博物館)

対象／中学生以上(小学生以下は保護者同伴)

申込み／美幌博物館に電話で申込み。25名で締切。

送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどのご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

1年の中でも日が長い時期になってきました。日の出の時間になると愛犬が前足を使い、頭を揺すって起こしてくれるのですが、朝4時はさすがに早すぎます。もう少し寝ていて欲しいものですが、話が通じる相手ではないので困っています。(八重柏誠)



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編集】城坂結実

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

